

3年生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、この3年間で何が心に残っていますか？夢の実現に向けて必死で勉強したこと、毎日のように部活動の練習に励んだこと、修学旅行等の学校行事に参加し楽しかったこと、友だちと語り合つたことなど一人ひとり違つた思い出があることでしょう。一生の友と出会い貴重な経験ができた高校生活だったのではないですか。

感謝の心を忘れずに



育友会 会長
富嶋 ますみ



天高育友会報
平成27年2月27日発行
発行 県立天草高校育友会
編集 天高育友会文化広報委員会
印刷 ワタナベデザイン

作つていつてほしいと願つていて、
それでの道で活躍する人になつていくことでしょう。
我が家では、「人の役に立つ仕事をしなさい」と言つてきました。大きなことでなくとも自分にできる範囲でぜひ入れてほしいと思います。

皆さんが、入学した年に私も育友会の活動に参加することになりました。育友会に携わりながら、皆さんの活躍や頑張りを知ることもできました。中でも、生徒会の皆さん、体育大会や文化祭などの行事をはじめ、朝の挨拶運動やスマートの使い方に関する決まり作りまで、天高生のために取り組んでいた姿に感心しました。他にも皆さん、この3年間で培つた多くのものがあると思います。これから、後輩の皆さんと生徒会が協力し、良き伝統を引き継ぎながら、新しい天草高校の校風を

方々に感謝の心を忘れないでください。将来、皆さんはそれぞれの道で活躍する人になつていくことでしょう。我が家では、「人の役に立つ仕事をしなさい」と言つてきました。大きなことでなくとも自分にできる範囲でぜひ入れてほしいと思います。

最後に、育友会の行事においては、多くの保護者の皆様や同窓会の方々のご支援とご協力をいたいたおかげで、無事すべての活動を終えることができました。心よりお礼を申し上げます。また、校長先生をはじめ、多くの先生方にも大変お世話になりました。感謝いたしましたと共に、天草高校の益々の発展を願つております。

人生に「おかわり」はないよ



校長
前田三千治

3年生の皆さん、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。大きな災害や事故、病気等もなく、無事卒業の日を迎えることができましたことにお祝いを申し上げます。

さて、卒業生の皆さん「三綱領」「正大」「剛健」「寛厚」のもと、また教育スローガン「求学志成」を胸に過ごした3年間はどうでしたか？過ぎてしまえば3年間は短いと感じているでしょうが、修学旅行で初めてスクラスの友との語らい、先生方の熱い授業や課外、部活動の練習や寮生活などを失うとき、寂しさや悲しさを感じることでしよう。

これからも日々の生活は続いていきます。目標を達成するのに努力は必要だが、努力が報われなかつたと感じるときもあるでしょう。青色発光ダイオードでノーベル賞を受賞した3人は何千回と実験を失敗していますが、失敗の中から成功のヒントを得ています。発明王エジソンは、電球一つ発明するにしても2万回の失敗をしたと

言われています。しかし、エジソンは「こうやると失敗する（できない）」ということが分かつたと見れば実験も成功だった」と、考えました。同じ「できなかつた」でも、やらずにできなかつたのとやつたけどできなかつたでは全然意味が違います。

最後に卒業生の皆さんへ、「静観自得（じょうかんじ）とく・心静かによくよくすべてを見つめ、自分自身で納得すること」のことばを送ります。たつた1回の誰も代わってくれない人生です。運命は外から来るのでなく、自分で「命を運ぶこと」と覚悟し、精一杯生きていってください。人生にリハーサルはないし、別のもとの取り替えることもできません。おかわりもできないけれど、死ぬときにこれならもう1回してもいいなと思うような人生になるよう自分の命をしつかり運んでください。

真に、満足ゆく日々を送るために



3年学年主任
野口 浩司

心構えとして今でも生き続けています。勿論、これからもそうでしょう。生徒諸君同様、私もこの伝統ある天高に育てられてきました。

ご卒業、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまでの学年の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございました。生徒諸君は、三綱領「正大・剛健・寛厚」を掲げる天高の3年間にわたる日々で、確実に成長しました。そして、環境が激変し、新たなステージへ歩み始めるみなさんに、最大のエールを送ります。

日本は、これまで幾多の試練を乗り越えてきました。そして、東日本大震災後は、新たな日本の方向性を突きつけています。これからは、先がまだまだ不透明なこ

の社会を、周囲の変化を感じ取る感覚を研ぎ澄まし、頑丈な根を張つて自分らしく生き抜かなければなりません。大人としての自覚と自己責任がつぎまとう日々の連続。しかし、必ずやこの3年間の経験が、苦しいときの支えになるでしょう。

私が天高に赴任した早々、「万目の男」山並兼武の生涯（上妻利博先生編著）と出会いました。只、只、

よりも、人知れず輝く星となれ。」は、私のこころの中にも深く刻まれ、自分を勇気づけ、仕事をする上での

心構えとして今でも生き続けています。勿論、これからもそうでしょう。生徒諸君同様、私もこの伝統ある天高に育てられてきました。

これから日本の発展のために、更なる探究は不可欠です。必ずハイレベルでグローバルなスキルが求められます。しつかり、学びましょう。天高を卒業するみなさんには、あらゆる場面でリーダーとしての活躍を期待するとともに、本当に世の中を変えるのはみんな一人ひとりのこころの底から湧きあがる、目立たない、粘り強い、丁寧な無償の行為であることも忘れないで欲しいと強く願っています。自分らしく、力強く生きて下さい。みんなの将来に幸多からんことを祈っています。

題字：2年4組 角本竜樹

熊本県立天草高等学校 育友会ホームページ～子どもたちの未来のために～

天草高校育友会

検索